

DEIM2026

情報という言葉の履歴

小野 厚夫

情報の初出の公表

1990（平成2）年9月15日

『日本経済新聞』朝刊の文化欄

参考文献

『情報ということば— その来歴と意味内容』
富山房インターナショナル (2016, 2025)

『インフォメーションとインテリジェンス
～ 情報という言葉をめぐるその後の探索』
「情報処理」Vol.62 (2021), No.8, e26 -

鷗外造語説は偽情報である

- 鷗外は「情報」という言葉を使ったユーザーの一人にすぎない。
- 鷗外が医学校の本科を卒業する以前の用例を私が見つけている。
- 鷗外は自分が造語したものについてはその旨断っている。
- 鷗外の訳した本は陸軍が出版した兵書で、一般の人が手にするような本ではない。
- 『大戦学理』は防御より攻撃を優先する陸軍の方針とは相容れないものだったので、軍事書に引用されることはほとんどなかった。
- 『鷗外全集』に収録されたのは昭和49年である。

「情報」の初出

酒井忠恕譯

佛國歩兵陣中要務實地演習軌典

『明治9年（一八七六）10月5日

内外兵事新聞局

野宮演習の教習書

			五	和	
			一	書	
			九	門	
			三	類	
			號		
			三		
			冊		
			三		
			冊		

115

庫 文 閣 内			
八	五		和
九	二		書
函	九		
四	三		類
架	冊	三	
		號	

内 閣 文 庫			
番 號	和	5193	
冊 數	3 (1)		
函 號	189	115	

佛國 歩兵陣中要務 實地演習軌典 酒井忠恕譯

19 x 13 cm

9 × 14 cm

原書

MINISTÈRE DE LA GUERRE
INSTRUCTION PRATIQUE
SUR LE
SERVICE DE L'INFANTERIE
EN CAMPAGNE
PARIS
1875



陸軍省 野戦での歩兵実務訓練

「情報」は仏語 *renseignement* の翻訳語である

酒井清『仏国歩兵陣中要務実施演習軌典抄』1882

「情報」は 敵の様子や知らせ である

斥候ナル者ハ其兵力一定セサル枝隊ニシテ、歩哨脈外ニ出テ地形ヲ細捜シ、敵ノ陣地運動ヲ觀察シ、敵状ニ関スル情報(知らせ)ヲ求メ、又敵ヲシテ其探偵ヲ行フニ畏レ憚カラシメ、且ツ隣隊哨所ノ連絡ヲ保持スル者ナリ
交代ヲ受ケタル小哨長ハ、上番ノ者ニ其得シ情報(てきのようす)及ヒ哨令ヲ伝知シ、且ツ之ト俱ニ庇掩スヘキ地上ヲ選択ス、而シテ歩哨ノ交代畢リシ后チ大哨ニ集合ス

偵察ニヨリ得シ総テノ情報(知らせ)トハ、何ヲ以テ之ヲ追証スルヤ

情報

1990年に私が最初に示した解釈
敵情の報知(報告)



敵の情状の報知(報告)

和製漢語

中国人が認めた 独創的な和製漢語 19 語

電話 電信 郵便 商業 情報 象徴

科学 美学 美術 止揚 哲学

心理学 論理学 倫理学 物理学

地理学 天文学 主観 客観

情報

初期には「**状報**」と書かれたものもあるが、ほどなく、「情報」に統一された。

当時の典型的な用例：

軍事教練書

軍隊の命令書

新聞における「情報」の初出

1884

明治27年11月29日付新聞『日本』

雑報

●征戦日録（七）

十一月十六日 素川生

十五十六の兩日……傳騎あり令を傳へて至る

混成旅團命令

旅順口ニ在ル敵ノ兵力ハ……

情報

此夜（十四日）敵ノ艦隊ヲ旅順附近ニ於テ見タルモノアリ

我艦隊ハ今十五日大連灣ヲ發シ渤海灣内ニ偵察ノ爲メ出帆セリ其數ハ軍艦十二隻通報艦一艘凡テ十三隻ナリ此艦隊八十八日頃歸着スベシ

明治27年11月30日付付録

新聞『日本』

東學黨征討の状況

二十九日午後二時廿三分廣島發

●三路分進隊より今日迄に到達したる

情報左の如し

(大本營揭示第二一二號)

右の「情報」の部分

ゼウ報	11月30日	自由新聞付録
報告	11月30日	時事新報付録
諸報	12月1日	国民新聞
諸報	12月1日	東京日日新聞
諸報	12月1日	萬朝報
詳報	12月1日	東京朝日新聞
報告	12月1日	都新聞
戰報	12月1日	郵便報知新聞
報告	12月4日	二六新聞
情報	12月4日	郵便報知新聞(再)

国語辞典

明治

37 コトワケノシラセ 『新編漢語辭林』
38 情況を探りて報知すること

『新式いろは引節用辭典』

38 やうすの知らせ 『漢語國語作文新辭典』

40 事情のしらせ 『辭林』

40 コトガラノシラセ 『學生必携明治辭典』

38 やうすのしらせ 『訂増中等作文辭典』

45 事情ノ報告 『大辭典』

大正

03 事柄のしらせ、情状の報知 『辭海』

05 事情の報知 『國語・漢文ことばの林』

12 事の実際のありさまの知らせ 『字源』

14 事情のしらせ 『廣辭林』

14 ありさまのしらせ

事のやうすのしらせ

情況の報知 『大漢和辭典』

軍事色なし

多い用例

～の情報によれば

其(或)筋に達したる情報によれば

確かなる筋に達したる情報によれば

…との情報達せり(達したり)

情報左の如し

情報に曰く

諸種の情報を総合すれば

情報を得たり

情報に接し

終戦前

終戦後

1876	「情報」初出	1950	1948 シャノン「情報理論」
1880			
1890		1960	情報処理学会 情報化社会
1900	日清戦争 新聞に「情報」 北清事変 「情報」の一般化 日露戦争 辞書に「情報」	1970	鷗外造語説
1910		1980	
1920	第一次世界大戦 俘虜情報局	1990	酒井の訳書発見 高校教科「情報」
1930		2000	
1940	第二次世界大戦 情報委員会 情報局	2010	
		2020	大学入学共通テスト「情報」

情報と諜報

「諜報」はかなり古くから存在し、広く流通してきた語である。

従って、「情報」が明治初期に造語されたということは、「情報」が「諜報」と異なる概念を有する語であることを意味している。

諜報

広辞苑 2008年

相手の情勢などをひそかにさぐって知らせること。また、その知らせ。

注目点

○機密性

○探ったことの知らせだけでなく、探ったり、探ったことを知らせる行為も含まれ、その方が「諜報」の第一義になっている。

例えば、「諜報する」とはいうが、「情報する」とはほとんど言わない。

英語の語源

英語の information と intelligence は、
共にラテン語に語源があり、
ラテン語が古フランス語を経て、
英語に入った単語である。

『オックスフォード英単語由来大辞典』 柊風舎、2015

「情報」に対応する外国語

英語

仏語

独語

information

information

Information

intelligence

intelligence

Intelligenz

renseignement



「情報」の原語

renseignement (仏)

renseigner という動詞の派生語で、enseigner (教える) に由来しており、1358 年にはじめて使用され、「述べること、指定すること、再び指摘すること」を意味した。

information (仏)

1286 年から使われている。ラテン語で「形を与える」ことを意味する informarer に由来しており、renseignement と同じ「教える、知らせる」という意義を持つ。

renseignement (仏)

フランスの軍隊では information でなく、
renseignement が使われている。

『フランス語語源辞典』 Albert Dauzat 1954

ところが、1762 年に新たに、「情報を与える」という定義が追加された。

「ある人や物事について、誰かがほしい知識を提供する」 → 専門家とか組織が必要

intelligence

① 理解力， 知能， 思考力；
聰明， 発明， 知性；

② <<特に重要な事柄の>>報道， 情報，
諜報；
諜報機関， 秘密情報部

intelligence

③ ニュース

19 世紀における英国の代表的な日刊紙

『The Times』の頻度の多い見出しは

「Foreign Intelligence」

「Parliamentary Intelligence」

「Latest Intelligence」

『The Times English Dictionary』 2000

Old-fashioned. news; information.

「情報」に対応する外国語

英語

仏語

独語

information

information

Information

intelligence

intelligence

Intelligenz

①

①

①

renseignement

1358年～

「情報」に対応する外国語

英語

仏語

独語

information

information

Information

intelligence

intelligence

Intelligenz

①+②

①

①

renseignement

Nachrichten

+②

+②

1762年～

アンテリジャンス

アンテリジャンス

intelligence のように intelligence じゃない

仏語、独語と英語間で

同じスペルの単語で意味の不整合が生じた。

infomation (仏)

フランスでは、

19 世紀から 20 世紀にかけて、諜報機関が拘わった数々の不祥事で、情報機関の評判とイメージが悪化し、軽蔑的な意味合いをもたれることになった。

陸軍の編成

明治維新後の 1870 年に、陸軍は普仏戦争に敗れたフランス式の編成を採用した。しかし、1885 年あたりからドイツ式に切り替えた。

幸い、ドイツ語には *renseignement* と同義語の *Nachricht* という言葉があり、②が含まれているため、「情報」の使われ方に変化は生じなかった。

鷗外は Clausewitz の『戦争論』を訳しているが、*Nachrichten* を「情報」と表記している。

英語辞書における「情報」の初出

英国公使館附武官 Chiurchill が 1902 (明治 35) 年に丸善から発刊した

A Dictionary of Military Terms and Expression

information : 「諜報」

intelligence : 「情報」

この表記は 1921 年まで、ほとんどの英語辞典で踏襲され、intelligence に「情報」が充当されたため、混乱を巻き起こした。

因みに第一次世界大戦は 1914 – 18 年である。

役所名

1886 intelligence-office: 報知局、公告局、報告局

1887 intelligence-office: 通知局 傭人目的

1904 俘虜情報局 Bureau de renseignements

1907 Commercial Intelligence Bureau: 商業情報局

1910 Naval Intelligence Dep.: 海軍情報局

1911 Intelligence: 通報局

1912 South Australian Bureau: 南豪州商業情報局

英語辞書における「情報」

ようやく、1920年代になって、「情報」の英訳に information や news が登場するようになり、

英和辞典で information に「情報」が定常的に充当されるようになったのは 1921 年（大正 10 年）以降である。

しかし日本では、特に軍部や政府機関が英語の intelligence を「情報」と訳して使っていたために、戦後混乱を招いた。

例えば、進駐軍がきて、しきりに広報という意味で information を使ったが、諜報という意味で理解しているために、話が通じないことがしばしば生じた。

防衛庁陸軍幕僚部 1965 年

『米軍用語集』

information 情報 [資料]

情報 (intelligence) と区別すべきときに限り「情報資料」という。

intelligence 情報

この情報とは情報資料 (information) を審査した精度の高いもの。

現在指摘されている問題点

日本では

英語の information と intelligence を

「情報」

という曖昧な訳語で表現している。

intelligence の概念

20 世紀以降何度か変容を遂げてきた。

その内容は複雑である。

特に自国の安全保障のため、独自に発展してきたため、各国特有の歴史的、政治的、社会的な条件に従って、形成されてきた。 一義性の欠如

「情報」をただ集めただけでは、
なぜそうなっているのか（原因）、
どうすべきか（解決策）
は見いだせない。

「情報」を収集、分析、評価し、
意思決定者が行動を起こす「情報」
を再構築する必要がある。

intelligence とは何か

policy に関する information である。

科学的、学術的であるかを問わず、政治的もしくは観念的な information を含んでいる。

情報に知的な処理を施した結果、得られる知識を指す。

information と intelligence

少なくとも軍事用語として両語は全く異なる要素であり、両語の概念は区別する必要がある。

異なる概念をとともに「情報」という語で表現するのはすでに限界を超えている。

information と intelligence

一番区別が明確なのは英語圏である。

それなら、英語と日本語を整合させるために新しい言葉を造語して、

information は「情報」、

intelligence は「聡報」

と表現してはどうか。

これが 2016 年以降の私の提案である。

information

情報

intelligence

②

聰報

①

知性
知能
聰明

情報 と 聡報

利点は

英語と日本語で概念が整合できる。

intelligence が もともと 持っていた、インテリという意味との区別が明確になる。

共に二語述語で、短縮される。